(第壱種郵便物認可)　明治二十八年十月四日　第四千四百二號　(定價壹部二錢五厘)

時事新報

明治廿八年十月四日
舊暦乙未八月十六日　金曜日
（甲、申）
日出午前五時二十九分
入午後五時十八分
月出午後五時三十分
入午後五時三十九分
清明
二百七十七日
八十八日
（西暦一千八百九十五年）
明治廿八年末まで

毎日新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり　時事新報には毎號詳細なる商況物價の報告あり

時事新報

富豪大家大に動く可し

世人或は曰く社會の安寧幸福は一般の貧富相平均して萬民等しく其生を樂むに在り彼の巨萬の富を積める富豪大家の如きは多々ます〳〵貧富の勢を偏重ならしむるものにして民安の爲め寧ろ有害物なり云々の說なきに非ず封建時代に天下太平、内治無事、士族は職を世外にして世祿に衣食し商工は一國内の商賣製造に從事して其業を營み敢て多を求めざる時代ならんには一般に甚だ富めるものもなく又甚だ貧しきものもなく貧富平均、熙々皞々として萬民共に太平の春を樂むを得べし富豪大家ありと雖も巨萬の資本なれを用ふるに所なくして給も實の持扶と同樣の次第なれば之を無益視するも或は可ならんなれども既に一國を開放して外交の道を廣くし次第に進んで文明の競爭場裡に入り商賣に工業に開世界を相手として大に爭はんとする今日の世態に爲りては先づ多くものは資本の入用にして差當り大資本家の必要を感ぜざるを得ず或は資本の供給は必ずも富豪大家を待たずして之を一般の世間に募集して一個人の出金は何千何百の小額にても細々積で山を成せば自から大資本を得るに難からず現在の諸會社は孰れも此趣向にして實業の實際に差支なきに非ずや論より證據にして特に大家に依頼するの必要なしとの說あれども畢竟淺薄の說たるに過ぎず云々の目的にして云々の特徴なりなど先づ躍算より割出して資本を募るが如き悠々閑々の事業には株式會社の組織も適當ならんなれども世界商工の劇しき競爭に敵と相對して一擧に勝敗を決し或は他の知らざるに先んじて奇計を運らし奇勝を制するが如き活潑機敏の操引は株式會社には到底望み可らざる所にして大資本家の自由運動に一任せざるを得ず喩へば政府の事にしても通常の政令法律を發するの場合には先づ議會の協賛を求むる等、夫れ〳〵手續を要すれども外交の機密、富國強和の決斷の如きは之を大權の自由に一任して苟も他の容喙を許さゞるが如く我實業は尾一點よりして今の社會に富豪大家のます〳〵多くして其運動のます〳〵活潑ならんことを望むものなり然し富豪大家が社會の表面に立つ其有樣は猶ほ森林の大樹の如し重陰四邊を蔽して日光を蔽ひ雨露を遮り爲めに樹邊に生々する草木の發育を妨るの害は幾分か免れざれども敢て其業能の偉大なるは自から掩ふ可らざる所のものなり然るに世人多數に其小害を云々して大勢の進歩を妨げ社會の大利益を失ふ者の如きは畢竟公平の見解に非ざれども然れども又一方より見れば富豪大家が大に運動して其大效能を一般に示すの機會なかりしは遺憾なりと云ふべし是れまで大家の人々は自から業を全ふするのみと甚だ稀なり或は世間小資本の輩が何事業を企てながら自から力の足らざるか又は經濟社會の不景氣に遭ふて維持に苦しむなどの場合に至り大家は恰も他に注付かれて解散を得ず不本意ながら其事業を引受けて自から經營するなど擧竟消極的の運動にして進取活潑の風なかりしかども今や日本の社會は非常に發達して國内の企業の如き敢て大家の力を要せざるのみか實際その力を要す可き大事業も乏しき其反對に顧みて海外の近情を見れば競爭の大勢ます〳〵切迫して最早やすぐ時の猶豫を容さゞる其中にも差當り日清戰爭の結果として支那内地の商賣企業は恰も世界競爭の爐點と爲り遠に自から進んで取らざるときは他に機先を制せられんとするの實勢を呈したり是れ豈に我富豪大家が大に奮發して其大効能を社會に示すの時機に非ずや此時機に際し進んで自から利して兼て國を益するの大金圖は其運動の自由活潑なる大資本家の外に求む可らず國民一般に望を屬する所なり然るを尙ほ猶疑觀望して決するあること能はざるが如き愚蒙あらんには世間の非難はます〳〵聲を高ふして富豪大家は果して有害の毒物なりなど評するものあるも我輩は精神の鮮なきに苦しむものなり

雜報

○米國近來の景氣　一昨年米國に於ける商業上の恐慌は頗る慘毒を極め其餘毒永く存して容易に景氣恢復の機運無かりしも猶漸く癒えたりと見え近來は諸般の商工業顧に振起し勢働の賃銀も既に三割を高めたりとの報は同國諸新聞紙の傳ふる所なり今近頃米國より歸朝せる人の語る所に依れば桑港に在留する日本人二千餘名、此内多く は他に雇はれて家内の勢働に從事するの不景氣には慣に奉公口を絶たれて爲す事も無く先年來の不景氣に不遇を歎のみなりしが近來景氣の恢復と共に是等壯年者の需要俄に起り賃銀も從て騰貴し從來一日一弗のものは一弗二三十仙に增し殘人にても需要ある勢なれば今は桑港の市中に此流の日本人數多の餘剩永く存して容易に景氣恢復の機運無かりしも猶漸く癒えたりと見え近來は諸般の商工業顧に振起し勢働の賃銀も既に三割を高めたりとの報は同國諸新聞紙の傳ふる所なり今近頃米國より歸朝せる人の語る所に依れば桑港に在留する日本人二千餘名、此内多く は他に雇はれて家内の勢働に從事するものなるが故、先年來の不景氣に不遇を歎のみなりしが近來景氣の恢復と共に是等壯年者の需要俄に起り賃銀も從て騰貴し從來一日一弗のものは一弗二三十仙に增し殘人にても需要ある勢なれば今は桑港の市中に此流の日本人數多の餘剩を留めずなりたりと云ふ又頃日ヴァンクバー港より歸朝する勢働者多く孰れも多少の餘剩なるは無く多きは三四千弗を所持する者さへあり是等勢働者の斯く利益を得て歸朝したる次第を聞くに豫て漁業に從事する向きは本年中臨時に汽船を雇ひ西伯利へ送附する積なりしなれば